

### こどもの心の発達



福岡大学医学部精神科 講師 小林隆児

## 愛情が最高の 栄養である(第二回)

母親の愛情に恵まれなかったらどうなるかということについてはとても有名な話がありま

す。第二次大戦で荒廃してしまっ たドイツが連合軍によって占領 され分割統治されていた頃のこと ですが、ある地区に2つの孤 児院がありました。Aという孤 児院の院長さんはとてもきびし いひとで、とにかくこどもが少 しても騒がしいとすぐ叱るよう な人で、子供の行動を非常に制 限していました。Bのほうはそ の反対にこどもの姿をみればす ぐに抱き寄せたくなるようなと てもやさしい人柄の院長さんだっ たのです。両者の子供の体重を ある小児科の女医さんが測定し たそうです。するとAの孤児院

の子供達は非常に身体発育が悪 いことがわかりました。ところが ある日、院長の配置転換があつ たところ、A孤児院の子供の体 重は急速に改善しました。逆に Bのほうは増加が鈍つてきたの です。

このことは子供の発達に及ぼす親の愛情の強さと影響力の大 きさを教えてくれます。このよ うな親の愛情をなんらかの要因 で十分に受けられなかった子供 を母性愛剥脱症候群(マターナル・デプライベーション)と称 しています。その端的な例は親 に乳幼児期から虐待されてきた 虐待児(正確には被虐待児とい

うべきでしょう)でしよう。 身体が発育が悪くなるに従い、 感情も乏しくなり、抑うつ的になつたり、無意欲状態を呈する ようになります。早くこのよう な状態から救い出すことが必要 です。まだわが国では少ないよ うですが、それでも早期からこ

のような状況に置かれたために、 身体発育のみならず、精神発達 全体までも非可逆的な悪影響を 受けてしまうことが少なくない のです。児童相談所にはそのよ うな子供が時々助けを求めにやっ てきます。

# ハイドクター

DOCTOR

ヘルペス性歯肉口内炎は単純性ヘルペスウイルスの感染でおこる病気です。直接接触するこ



福岡歯科大学 小児歯科学教室 助手 石井 香

### ヘルペス性歯肉口内炎

## 重症でも2週間で完治

ヘルペス性歯肉口内炎は単純性ヘルペスウイルスの感染でおこる病気です。直接接触するこゝろによつてうつります。この病 気は5歳以下の乳幼児に比較的 多く発病し、特に冬期に多い傾 向があります。通常、発熱と全 身倦怠感をもつて発病するため に、発病初期にはよく感冒と間 違いやすいのですが、発病2〜 3日後に口腔粘膜に多数の小水 泡が出現しますので口腔内を注 意深く見ていただければ比較的 容易に診断ができます。口腔内 の小水泡は、破れて潰瘍を形成 し、これと同時に歯肉は赤く腫 れ、出血しやすくなり強い痛み と口臭を伴います。これらの小 水泡は口腔内だけでなく唇や口

角部にもでき同様に潰瘍をつくる 事が多いようです。全身的には、 高熱の持続と口腔内の疼痛 が著しいため、栄養状態が悪化 したり、乳児では哺乳困難のため 脱水症、栄養障害などから重 篤な症状を併発する事がありま す。しかし、全身症状は口腔内 の症状の消退とともに急速に回 復します。これらの症状は個人 差が大きく、軽症の場合では1 週間以内で、重症の場合でも10 日〜2週間ではほぼ完全に治癒し、 痕痕は残りません。今のところ、 ヘルペス性歯肉口内炎の治療法 としてウイルスを直接殺す薬や

### 健康コラム

## 安静と十分な水分補給を

9歳の女の子。インフルエンザの流行期 大事な注意が必要で す。

控えましょう。感染後、発病 までは1〜2日間、突然39〜 40度の高熱を出します。小学 校高学年の学童や大人では、 悪寒、ふるえ、頭痛、食欲不 振などを訴えます。熱は3日 くらいつづきますが、熱のあ る間は水分を十分に補給し、 消化がよく栄養価の高い食品 を与えましょう。暖かい部屋 で安静に過ごすことがたいせ つで、これは回復を早めるば かりでなく、合併症を防ぐこ とにもなります。小さい子ど もの場合、気管支炎、肺炎、 中耳炎などの合併症を起こす こともまれてはありませぬ。

## インフルエンザ

ます。ウイルスは、毎年の流 行にあたって少しずつ性質が 変化しており、この性質の変 わったウイルスに対して免疫 のない人が感染します。発病 後3〜4日間、患者の鼻腔、 のど、気管にウイルスがいる ため、せきやくしゃみからうつ ります。うつらないために は流行時に人込み連れ出さ ないようには、人にうつさな いためには約1週間は登園を

みを伴うため、なかなか食事を 取りにくいのですが、アイスク リームやプリン等は栄養価もた かく食べやすいようですので試 してみてください。



ワクチンなどはないため、対症 療法が主ですが、全身的にはグ ロブリンの早期投与で症状の軽 減を計ることもあります。また 栄養障害の防止にビタミン剤の 投与を行うこともあります。痛